

## ■令和5年度第6回（第331回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 令和5年11月22日（水） 午後2時10分～午後2時20分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、小川副市長、教育長、水道事業管理者、都市戦略本部長、総務局長、財政局長、都市局長、総合政策監

【議 題】 さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）について

### < 提案説明 >

さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）について、都市戦略本部より次のような説明があった。

- 本議題は、さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）について、素案を確定し、令和6年3月の基本計画策定に向けて、パブリック・コメントを実施してよろしいかご審議いただくもの。
- これまでの経緯と現庁舎の現状と課題は4～6ページのとおり。
- 新庁舎整備等基本構想で整理した基本理念について、それぞれの基本理念を具体化するための基本方針を整理した。
- 導入機能と規模としては、全体の概算面積は約5万㎡とし、将来の状況の変化に応じて柔軟に対応できるような計画としている。
- 各用途の必要面積と新庁舎整備等基本構想から変更した点について整理した。
- 新庁舎に求められる性能としては、主に免震構造で更新性が高い構造としていくということ、できる限り高い環境性能を目指していくということ、セキュリティレベルを設定しながら進めていくこととしている。
- 配置計画として、歩行者デッキの比較検討をしているが、その結果として歩行者デッキでのアクセスを前提として今後検討を進めていくこととしている。
- 建物配置イメージ、断面構成、施設整備イメージは25～27ページのとおり。
- 事業手法とスケジュールについては、庁舎機能と民間機能は分棟とすること、その上でそれぞれ事業手法を検討した。
- 庁舎機能の事業手法としては、4つの手法とそれぞれの費用削減効果やスケジュール等を比較検討した結果として、基本設計先行型のDB方式を採用するとしている。
- 民間機能の事業手法については、比較検討の結果、土地貸付方式で公募することを考えている。
- 今後のスケジュールとしては、令和13年度の移転・供用開始を目指して進めていく。
- 概算事業費は、民間活力による削減分を含めて約400億と整理した。財源としては主に市債と基金を想定し、国庫補助金等の活用も検討していく。

- 参考として、他自治体の基本計画時の概算事業費との比較表を掲載。

#### < 意見等 >

- ・ 「庁舎建設費（建設工事）」について、基本構想時点から増加した主な理由は何か。
- 昨今の物価高騰および人件費の高騰が大きく影響しているほか、防災機能強化に係る面積増加などによるもの。具体的には、建設資材や労務費、仮設費などを含む建設コストは、直近2年間でおよそ2割増加するなど、これらの物価上昇等の影響を考慮して試算したもの。

#### < 結果 >

- ・ 都市戦略本部発議のさいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）について、原案のとおり了承とする。

#### < 会議資料 >

- ・ さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）概要
- ・ さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）